

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年1月26日作成)

小委員会名	大振幅予測地震動小委員会		主 査 名：土肥 博 就任年月：2017年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：長島一郎
設 置 期 間	2017年4月 ～ 2021年3月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	大振幅地震動に対する建物応答評価と設計法の検討 初年度：南海トラフおよび相模トラフの巨大地震の断層モデル作成 2年度：南海トラフおよび相模トラフの巨大地震の地震動予測 3年度：予測地震動に対する地盤と建物の応答評価。大会PDの実施 4年度：上町断層、南海トラフ、相模トラフの地震動に対する設計法の試案		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	主査：土肥博 (NTTファシリティーズ総研) 幹事：石原直 (国総研)、西澤崇雄 (日建設計) 委員：石井透 (清水建設)、糸井達哉 (東京大学)、上林宏敏 (京都大学)、岡野創 (千葉大学)、永野正行 (東京理科大学)、林康裕 (京都大学)、司宏俊 (東京大学)、宮腰淳一 (清水建設)、壇一男 (清水建設)、久家英夫 (竹中工務店)、白井和貴 (北海道大学)		
設置WG (WG名：目的)	南海トラフ地震WG：南海トラフ地震の地震動予測と建物応答評価 相模トラフ地震WG：相模トラフ地震の地震動予測と建物応答評価 RC造性能評価WG：RC造建物の予測地震動に対する損傷評価 S造性能評価WG：S造建物の予測地震動に対する損傷評価		
2020年度予算	210,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	7回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	1. シンポジウム「東日本大震災から10年 ― 建築振動分野の課題と展望」(振動運営委員会全小委員会共同) 参加者数 140名 『同名資料』
大会研究集会	2020年度大会(関東)諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 相模トラフ地震と南海トラフ地震の予測地震動を用いた建物応答結果から損傷予測を継続 2. 新たにRC造性能評価WGとS造性能評価WGを設置し、損傷評価体制を強化 3. 次年度予定の小委員会シンポジウムの準備
委員会活動の問題点・課題	1. RC造、S造、二次部材の専門家の委員追加 2. 他小委員会との連携